

環境調査結果のお知らせ

令和6年8月22日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

概況

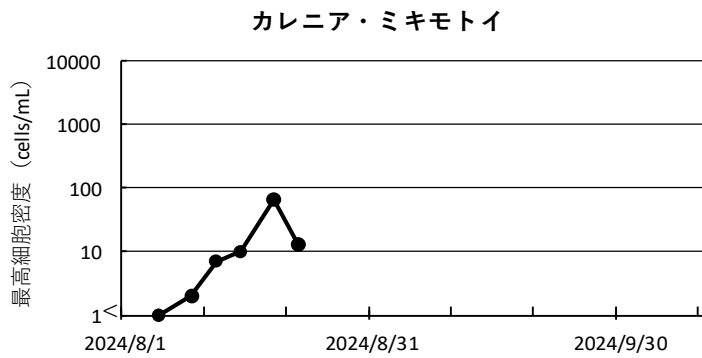
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で13 cells/mL、シャットネラ属が最高で4 cells/mL、タカヤマ属が最高で203,000 cells/mL確認されました。福良でタカヤマ属が濃密な赤潮となっていますので、十分注意してください。当該プランクトンは魚類にとって有害であり、10,000 cells/mL以上で漁業被害が発生する可能性があります。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

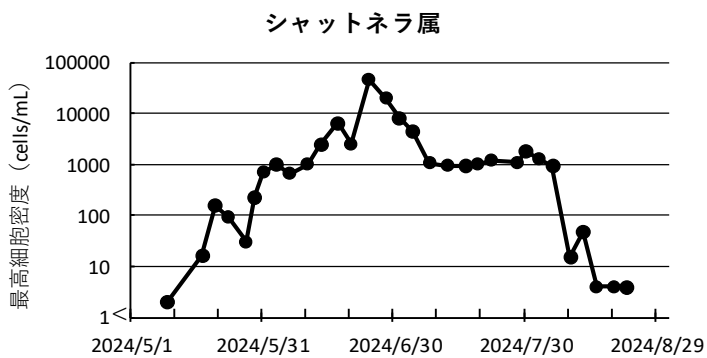
調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	タカヤマ属	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A 鳴無 (3.6m) 【09:13】	0	30.1	10.1	9.0	0	0	20	-
	2	31.8	30.9	8.5	0	0	40	-
	5	30.3	31.4	4.6	13	1	1	-
	底層 9	29.5	31.3	1.3	-	-	0	-
B 中学校前 (3.9m) 【09:22】	0	31.0	22.7	9.6	0	0	380	510
	2	31.6	30.6	9.6	0	4	400	2,250
	5	30.4	31.4	5.2	11	0	30	80
	10	29.6	31.5	1.6	8	0	0	60
底層 12.5	28.8	31.4	0.2	-	-	3	-	
C 目ノクソ (3.5m) 【09:34】	0	31.1	23.0	9.5	0	0	180	500
	2	30.7	30.8	8.5	0	4	260	60
	5	30.5	31.3	6.2	2	0	20	0
	10	29.7	31.5	2.0	2	0	0	10
底層 15.5	28.4	31.4	0.0	-	-	0	-	
D 光松 (4.3m) 【10:04】	0	31.4	21.7	9.7	0	0	80	260
	2	30.9	30.3	8.4	0	1	2,120	160
	5	30.1	31.2	4.5	8	2	10	50
	10	29.7	31.4	2.5	0	0	30	4
底層 17	28.2	31.4	0.0	-	-	0	-	
E 大鹿 (5.3m) 【10:15】	0	31.5	24.5	9.9	0	2	1	1,150
	2	30.6	30.6	8.0	4	0	1,340	0
	5	29.9	31.3	3.8	0	0	6	20
	10	29.5	31.4	3.0	0	0	1	3
底層 16.5	28.2	31.4	0.0	-	-	0	-	
F 水試小割前 (3.3m) 【10:29】	0	31.4	27.6	8.6	0	0	0	40
	2	30.0	31.1	7.1	6	0	9	100
	5	29.7	31.4	4.5	0	0	10	80
	底層 9	29.1	31.8	5.5	-	-	0	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	タカヤマ属	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)				
G 福良 (-) 【09:56】	0	31.5	25.1	14.4	0	0	203,000	-
	2	31.5	31.0	11.1	-	-	-	-
	5	30.9	31.5	3.2	-	-	-	-
	底層 6.5	30.8	31.6	0.8	-	-	-	-

令和6年度 浦ノ内湾におけるカレニア・ミキモトイの最高細胞密度の推移



令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移





- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前
- G: 福良

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。